

「万葉集と大伴家持」

(小学校高学年から)

() 学校 () 年 () 組 名前 ()

1. 『万葉集』って？

① 『万葉集』って、どう読むのかな？

② 「万葉」って、どんな意味かな？



2. ○×クイズで学習しよう

① 「^{そい}初位」のクイズから——

・大伴家持が『万葉集』に残した歌は、何^{しゅ}首かな？

*和歌を数える時は「首」。俳句を数える時は「句」を使うよ

・女性でいちばん多くの歌を残したのは、誰かな？

② 「ニ・三位」のクイズから——

・「十六」って書いて、どう読むのかな？

*その言葉はどういう意味かな？

③ 「一位」のクイズから——

・『万葉集』には、いくつの歌がおさめられているのかな？

*うしろのパネルに答えがあるよ

3. 下を見ると

・床の鳥のカゲを見つけて上を見ると、その鳥が飛んでるよ。なんていう鳥かな？

*ガラスケースの中の大伴家持の足もとにもいるよ

4. 『万葉集』の「^{しゃほん}写本」って？

・いま残っている『万葉集』の「写本」のうちで、もっとも古いものの名前は何かかな？

・その「写本」にはどんな^{とくちょう}特徴があるかな？

5. 古代の日本

・古代の日本は、7つの「^{どう}道 (=地方)」に分かれていたよ。7つ言えるかな？

*君が住んでいるまちは、何道になるのかな？

6. おおとものやかもち 大伴家持について

奈良時代に生まれて、政治を行なう間に、たくさんの和歌を作りました。
746年から751年まで、越中国の長官（国守）だったので、越中国府にいました。

歴史館の中には、絵やなどたくさんの大伴家持がいます

*右の写真は、どこの大伴家持像かわかるかな？



7. 奈良時代って？

日本の都が平城京（いまの奈良県奈良市）にあった、710年から784年までの74年間を奈良時代といいます。日本の政治のしくみがととのえられ、仏教がひろまり、天平文化が花開きました。

奈良時代のおもなできごとを歴史館で探してみよう

*年表や展示を見てね

8. 「越中」の国って？

いまの富山県は、むかし「越中の国」と呼ばれていました。「コシ」というとても広い地域を、前・中・後に分けて「越前・越中・越後」と呼んでいました。越前はいまの福井県と石川県、越後はいまの新潟県です。大伴家持が越中の国に来ていた頃は、能登半島も越中の国でした。

*「加賀国」は奈良時代には「越前国」だったんだよ！

9. 越中国守って？

「国守」は「国の長官」のことで、「守」とよみます。数人の部下と仕事をしました。その組織を「国司」とよびます。越中の国守の館は、いまの富山県高岡市伏木にあったと考えられており、大伴家持は、そこで5年間過ごしました。

*家持が住んでいた館は、いま何という建物が建っているかな？

*大伴家持の部下たち〔役職と名前〕

越中国司	{ 長官=守(かみ) 次官=介(すけ) 三等官=掾(じょう) 四等官=目(さかん) }	大伴家持			
		くらなわまろ 内蔵縄麻呂			
		おおとものいけぬし 大伴池主	くめひろなわ 久米広縄		
		はだのやちしま 秦八千嶋	たかやすのたねまろ 高安種麻呂	はだのいわたけ 秦石竹	

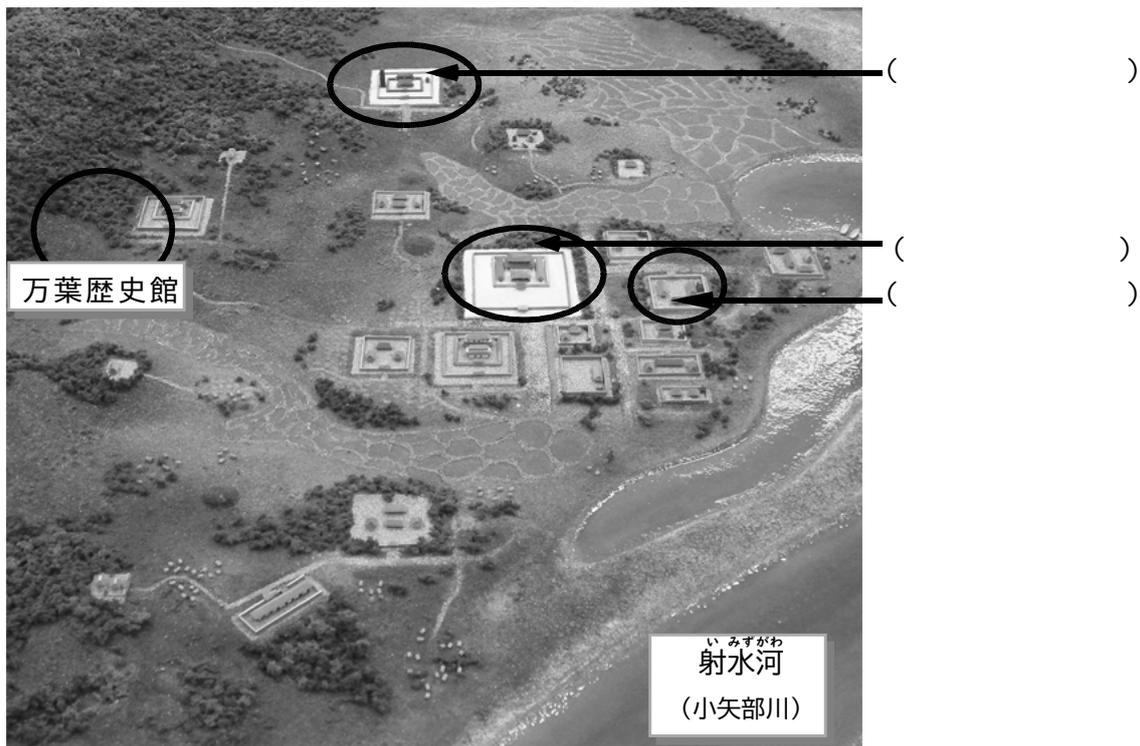
10. 越中国庁って？

越中の国司たちが仕事をした建物を「国庁」とよび、国庁を中心とする広い一帯を「国府」とよぶことがあります。越中国庁は、JR伏木駅前の坂道を登ったところで、現在勝興寺が建っている場所だと考えられています。国庁を中心とした国府には、さまざまな建物が建っていました。



〔勝興寺本堂〕

ジオラマを参考にして、()に語句を入れてね



* 「体感エリア」に置いてある大きな碑には「越中国廳址」って書いてあるよ
「國廳址」は「国庁跡」の古い字だよ

11. 和歌って？

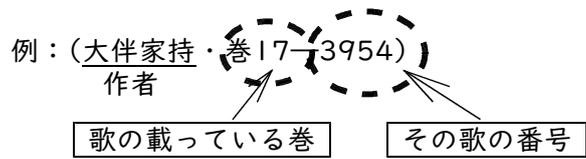
「和歌」は「やまとうた」ともいい、短歌（57577）や、5音と7音を長く続ける長歌などをまとめた言い方です。「百人一首かるた」の歌も和歌です。

春過ぎて 夏きたるらし 白たへの 衣干したり 天の香具山

訳：春が過ぎて 夏が来たらしい。まっ白な服が干してある、天の香具山よ。

いいなと思う歌があったら写しておこう

*歌の最後についているのは、作者と万葉集の巻と歌番号うたばんごう（その歌の背番号）だよ



*歌番号をメモしておくよと、その歌のことをすぐ調べられるよ

歌	歌	歌
(巻)	(巻)	(巻)

メモ・疑問に思ったこと

<hr/>

わかったこと・印象に残ったこと

<hr/>

5 7 5 7 7のリズムで、今の季節をテーマにして、じっさいに歌をよんでみよう。

--

「万葉集と大伴家持」

(解 答)

1. 『万葉集』って？

① 『万葉集』って、どう読むのかな？

——マンヨウシュウ

② 「万葉」って、どんな意味かな？

——^{ばんだい}万代、^{ばんせい}万世

2. ○×クイズで学習しよう

① 「初位」のクイズから——

大伴家持が『万葉集』に残した歌は、何首しゅかな？

*和歌を数える時は「首」。俳句を数える時は「句」を使うよ

——473首

女性でいちばん多くの歌を残したのは、誰かな？

——大伴坂上郎女 [おおとも さかのうえの いらつめ]

② 「二・三位」のクイズから——

・「十六」って書いて、どう読むのかな？——**シシ**

*その言葉はどういう意味かな？——**肉**

③ 「一位」のクイズから——

・『万葉集』には、いくつの歌がおさめられているのかな？——**4536首**

*うしろのパネルに答えがあるよ！

3. 下を見ると

・床の鳥のカゲを見つけて上を見ると、その鳥が飛んでるよ。なんていう鳥かな？

*ガラスケースの中の大伴家持の足もとにもいるよ

——**ホトトギス**

4. 『万葉集』の「写本」って？

・いま残っている『万葉集』の「写本」のうちで、もっとも古いものの名前は何かな？

——**桂本 [かつらぼん]**

・その「写本」にはどんな特とく徴ちゆうがあるかな

——**巻物・色紙を使っている・漢字とひらがなが書かれている・鳥などが金色で描かれている**

5. 古代の日本

・古代の日本は、7つの「道どう (=地方)」に分かれていたよ。7つ言えるかな？

——^{さんやうどう}山陽道・^{さんいんどう}山陰道・^{さいかいどう}西海道・^{なんかいどう}南海道・^{ほくりくどう}北陸道・^{とうさんどう}東山道・^{とうかいどう}東海道

*君が住んでいるまちは、何道になるのかな？

6. ^{おおとものやかもち}大伴家持について

奈良時代に生まれて、政治を行なう間に、たくさんの和歌を作りました。
746年から751年まで、越中国の長官（^{こくしゅ}国守）だったので、越中国府にいました。



歴史館の中には、絵やなどたくさんの大伴家持がいます

*右の写真は、どこの大伴家持像かわかるかな？

——^{ふたがみやま}二上山

7. 奈良時代って？

日本の都が平城京（^{へいじょうきやう}いまの奈良県奈良市）にあった、710年から784年までの74年間を奈良時代といいます。日本の政治のしくみがととのえられ、仏教がひろまり、^{てんびやうぶんか}天平文化が花開きました。

奈良時代のおもなできごとを歴史館で探してみよう

*^{ねんびやう}年表や^{てんじ}展示を見てね

8. 「越中」の国って？

いまの富山県は、おかしは「^{えっちゆう}越中の国」と呼ばれていました。「コシ」というとても広い地域を、前・中・後に分けて「^{えちぜん}越前・^{えっちゆう}越中・^{えちご}越後」と呼んでいました。越前はいまの福井県と石川県、越後はいまの新潟県です。大伴家持が越中の国に来ていた頃は、能登半島も越中の国でした。

*「加賀国」は奈良時代には「越前国」だったんだよ！

9. ^{こくしゅ}越中国守って？

「国守」は「^{くに}国の長官」のことで、「^{かみ}守」とよみます。数人の部下と仕事をしました。その組織を「^{こくし}国司」とよびます。^{えっちゆう}越中の^{こくしゅ}国守の館は、いまの富山県高岡市伏木にあったと考えられており、大伴家持は、そこで5年間過ごしました。

*家持が住んでいた館は、いま何という建物が建っているかな？

——^{ふしき きしやう しりやうかん}伏木気象資料館

*大伴家持の部下たち〔役職と名前〕

こくし 国司	}	長官＝守（かみ）	大伴家持		
		次官＝介（すけ）	^{くらのなわまろ} 内蔵繩麻呂		
		三等官＝掾（じょう）	^{おおとものいけぬし} 大伴池主	^{くめひろなわ} 久米広縄	
		四等官＝目（さかん）	^{はだのやちしま} 秦八千嶋	^{たかやすのたねまろ} 高安種麻呂	^{はだのいわたけ} 秦石竹

10. 越中国庁って？

越中の国司たちが仕事をした建物を「国庁」とよび、国庁を中心とする広い一帯を「国府」とよぶことがあります。越中国庁は、JR伏木駅前の坂道を登ったところで、現在勝興寺が建っている場所だと考えられています。国庁を中心とした国府には、さまざまな建物が建っていました。



〔勝興寺本堂〕

11. 越中国庁って？

次の（ ）に、語群の中の適当な語を入れてね。



(国分寺) 仏教を広める場所だよ。

○勝興寺

(越中国庁) 家持が仕事をした所だよ。

○伏木気象資料館

(国守館) 家持が生活した所だよ。

伏木の地は、古代越中国の中心だったんだよ。

▲大伴家持が越中国守であった当時の伏木